

巨大災害に備えて 防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）

平成27年度第2期



内閣府(防災)

内閣府(防災)では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、国や地方公共団体等の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

その一環である有明の丘基幹的広域防災拠点会場として実施する本研修は、防災スペシャリストに求める能力は役割に応じて異なるという観点から、「本部運営の中核的役割を担う職員」、「個別課題の対応に専門的に従事する職員」、「防災部門への新任職員」を対象に、「総合管理」、「個別対策」、「防災基礎」の3コースを整備しました。

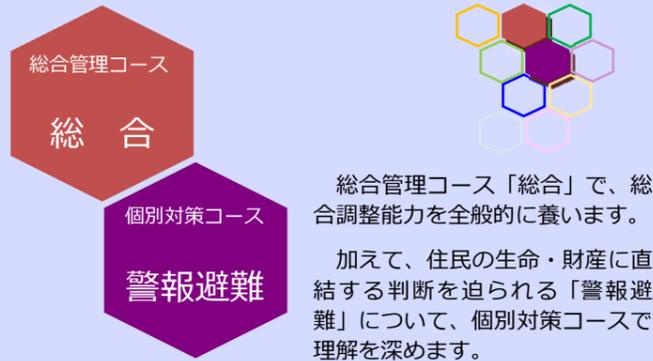


平成28年

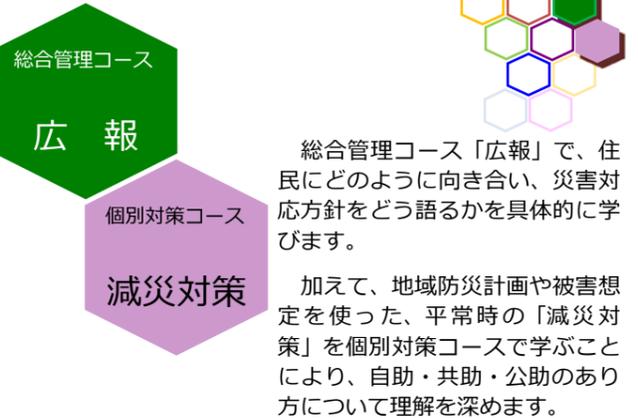
日	月	火	水	木	金	土
1/24	25	26	27	28	29	30
		防災基礎		訓練企画		
31	2/1	2	3	4	5	6
		総合		警報避難		
7	8	9	10	11	12	13
		復旧復興				
14	15	16	17	18	19	20
		計画立案		減災対策		
21	22	23	24	25	26	27
		避難所運営・被災者支援		物資物流・広域行政		
28	29	1	2	3	4	5
		広報				

標準的な履修モデル

Case 1 災害対応の経験の浅い危機管理監や災害対策課長など防災責任者



Case 2 防災業務の経験はあるが実際には災害対策本部の設置経験の無い防災責任者



会場

有明の丘基幹的広域防災拠点施設
東京都江東区有明3丁目

アクセス

- りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分
- ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分

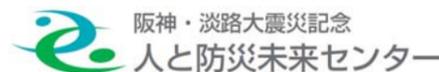
有明の丘基幹的広域防災拠点施設は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報のとりまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災のヘッドクォーター及び広域支援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地として、東扇島地区（川崎市）の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。



実施主体



企画・運営



総合管理コース

本部運営の中核的役割を担う職員を対象とした
3つのコース 各2日間



個別対策コース

個別課題の対応に専門的に従事する職員を対象とした
6つのコース 各2日間



防災基礎コース

防災部門への新任職員を対象とした
1つのコース 2日間



組織の運用上不可欠な総合調整を行う上で必要となる「知識」「技能」「態度」を身につけます。どのような状況においても、正しい心構えで、的確かつ迅速に判断・実行する能力を習得するための演習を活用します。

個別課題に特化し、その課題への対応を図る上で必要な「知識」や「技能」を身につけます。状況に応じて適切な対応を行うための個別課題に応じた「態度」についても習得します。

防災活動を行う上で前提となる「知識」や、活動を行う上で身につけておくべき「態度」など、防災業務の遂行に必要な不可欠な基礎知識、態度を習得します。

CURRICULUM

カリキュラム 【平成27年度 第2期】

防災活動に必要な能力を確実に身につけるために、受講者が強化したい項目に応じて自由に選択し、組み合わせる履修できるカリキュラムを実施します。それぞれのコースを履修することにより、「防災スペシャリスト」が実施する防災活動のうち、どの活動の能力を身につけることができるかがわかるようになっています。

※ 研修カリキュラムは、変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

個別対策コース：「防災基礎」1月26日（火）～27日（水）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
1月26日	危機管理総論 防災・危機管理の基本的な考え方を学びます。	防災行政概要 防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学びます。	災害法体系 災害対策基本法・災害救助法などの構造や適用範囲、権限の概要を学びます。	防災計画 防災計画の法的な位置づけと防災基本計画の内容を学びます。	地震・津波発生メカニズムと実態(事例) 地震・津波災害の発生メカニズムと、災害による被害を理解し、地方公共団体の対応を学びます。
1月27日	風水害のメカニズムと実態(事例) 風水害の発生メカニズムと、災害による被害を理解し、地方公共団体の対応を学びます。	火山災害のメカニズムと実態(事例) 火山災害の発生メカニズムと、災害による被害を理解し、地方公共団体の対応を学びます。	災害対応過程と態度を学ぶ 災害発生前後の地方公共団体の対応について具体的な事例に沿って学びます。		全体討論・閉講 防災力アップのため、災害対応の基本について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考えます。

個別対策コース：「予防」 「減災対策」2月18日（木）～19日（金）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月18日	減災対策総論 自助・共助・公助による減災や被害予測など減災対策の基本的な考え方を学びます。	各省庁の減災対策 国の各省庁が行う様々な減災対策とその最新の動向について学びます。	ボランティア・市民団体 災害ボランティアとの連携、企業や市民団体の自発的な防災協力について学びます。	企業防災 企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学びます。	減災対策ワークショップ 地方自治体の防災行政における自助・共助・公助の実践的な推進の仕方についてワークショップ形式で学びます。
2月19日	行政のBCM 行政におけるBCMの意味と策定のポイントについて学びます。	住民啓発・防災教育・災害教訓の伝承 住民啓発、防災教育、災害教訓の伝承について学びます。	住民啓発・防災教育ワークショップ 住民啓発や防災教育の実践的方法をワークショップ形式で学びます。	自主防災活動・地区防災計画 自主防災活動の実態とその促進策、地区防災計画の意義について学びます。	全体討論・閉講 防災力アップのため、減災対策について学んだことを、受講者が自らの地方自治体でどのように反映させるかを考えます。

個別対策コース：「予防」 「訓練企画」1月28日（木）～29日（金）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
1月28日	訓練企画の枠組 災害対応や防災に関する訓練企画の全体像と訓練手法にどのようなものがあるかを学びます。	訓練企画手法 防災訓練の企画手法を学びます。	訓練事例 国や地方公共団体が実際に実施している訓練の事例を学びます。	訓練企画運営実践Ⅰ（討議型図上演習） 訓練手法のうち討議型図上演習の一つであるエスノグラフィー演習を経験し、個人を対象とした訓練企画の入り口である災害対応の疑似体験演習の企画運営の考え方を学びます。	
1月29日	訓練企画運営実践Ⅱ（状況付与型図上演習） 訓練手法のうち状況付与型図上演習の一つである災害対策本部運営訓練を経験し、災害対応組織を対象とした災害発生直後の初動対応訓練の企画運営の考え方を学びます。		訓練の運営、評価・改善手法 訓練の運営から訓練結果の評価と既往の計画等にフィードバックする方法を学びます。		全体討論・閉講 防災力アップのため、訓練企画について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考えます。

個別対策コース：「応急」 「警報避難」2月4日（木）～5日（金）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月4日	警報避難対策の枠組 警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学びます。	避難勧告ガイドライン 避難勧告ガイドラインについて学びます。	警報等の種類と内容 気象庁、国交省、都道府県から発表される警報等の種類と内容を学びます。	避難場所・避難所の認定 住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件を学びます。	避難場所・避難所の適否判断の実務 災害ごとに避難場所・避難所の適否判断をするうえでの行動を演習形式で学びます。
2月5日	土砂災害における警報と避難 土砂災害における警報と避難の実務について学びます。	広島の土砂災害の事例に学ぶ 広島の土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学びます。	風水害における警報と避難 風水害における警報と避難の実務について学びます。	風水害におけるタイムライン計画 風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法を演習形式で学びます。	全体討論・閉講 防災力アップのため、警報避難について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考えます。

個別対策コース：「応急」 「物資物流・広域行政」2月25日（木）～26日（金）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月25日	救援物資調達の実務と課題 被災者への救援物資の調達に関する実務と課題について学びます。	救援物資輸送の実務と課題 被災者への救援物資の輸送に関する実務と課題について学びます。	警察災害派遣隊の活動と緊急輸送路の確保 応急期における警察災害派遣隊の救助活動の概要と救援物資の輸送等で必要となる緊急輸送路の確保のための交通規制や緊急車両の手続きなどについて学びます。	交通の確保 救援物資の輸送等で必要となる道路、港湾、鉄道、空港などの交通確保について学びます。	物資物流演習 災害時の救援物資の調達から輸送・保管・配布に至る一連の活動における留意点などを演習形式で学びます。
2月26日	広域的な応援体制の枠組 大規模災害時の広域的な応援体制の全体像と国民等からの義捐物資・義援金の受入について学びます。	国による災害応急対策 緊急消防援助隊を始めとする大規模広域災害時の国による広域的な災害応急対策について学びます。	自衛隊の災害派遣 災害事例等から、自衛隊の活動を例に、広域的な応援受援の実態と課題について学びます。	広域応援・受援ワークショップ 大規模災害時の広域的な応援および受援活動の実施における留意点などを演習形式で学びます。	全体討論・閉講 防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考えます。

個別対策コース：「応急」 「避難所運営・被災者支援」2月23日（火）～24日（水）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月23日	被災者支援の全体像 被災者支援の全体像を学びます。	災害救助法と生活再建支援法 災害救助法と生活再建支援法の位置づけや手続きなどの概要を学びます。	避難生活の支援 避難生活の支援が果たすべき機能を学びます。	多様な主体による被災者支援 自衛隊や警察、消防、民生・児童委員、ボランティアなど専門の職能における被災者支援について学びます。	避難所のライフサイクル 避難所の指定から開設、空間設計、運営、解消まで避難所のライフサイクルを学びます。
2月24日	避難所以外の避難生活 医療・福祉・教育施設など施設避難や旅館・ホテルなどへの避難、在宅避難を学びます。	仮設住宅のライフサイクル 仮設住宅と借り上げ仮設住宅のライフサイクルや他の仮住まいの形態を学びます。	医療による被災者支援 医療による被災者支援を学びます。	被災者支援の個別課題 孤立やご遺体の処理、帰宅困難者、広域避難など被災者支援の個別課題を学びます。	全体討論・閉講 防災力アップのため、避難所運営と被災者支援について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考えます。

個別対策コース：「復旧」 「復旧復興」2月9日（火）～10日（水）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月9日	復旧・復興総論 被災者および被災地の復旧・復興プロセスの全体像と災害復興関連法制度の概要について学びます。	被災施設・設備の応急復旧 復旧・復興の前提となるライフラインや道路機能の応急復旧、及び社会基盤の復旧復興を行ううえで基本的な知識を学びます。	災害廃棄物処理 応急復旧の前提となる災害瓦礫の撤去とその処理の意義及び進め方について、事例に基づき学びます。	住まいと生活の再建 被災者個人の生活復興とその基盤となる被災者の住まいの再建について、事例に基づき学びます。	経済復興支援と被災者の雇用支援 地域社会の活力と被災者の雇用の確保につながる経済復興について基礎的な知識を学びます。
2月10日	復興基本計画と復興まちづくり 復旧・復興を本格的に進めるための計画策定手法と復興まちづくり事例を基に実務を学びます。	復旧・復興推進上の課題と事前の復興対策の意義 復興施策の推進にあたっての課題を理解するとともに、事前の復興対策の取り組みの意義について学びます。	復旧復興計画策定ワークショップ 復興計画策定プロセスの理解と復興施策の推進のための復興本部体制のあり方について、演習形式を学びます。		全体討論・閉講 防災力アップのため、復旧復興について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考えます。

総合管理コース「計画立案」2月16日（火）～17日（水）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月16日	組織マネジメント・事業継続マネジメント 災害対応における組織マネジメントの概要と作戦立案に必要な体制、及び事業継続マネジメントとの関係について学びます。	災害対策の検討とステークホルダー 災害対策の検討と危機対応に必要な支援機能と組織間連携の考え方を学びます。	情報収集・分析演習 災害対応における作戦立案のための情報収集と分析手法について、地図や地理空間情報システムを使った演習を通じて学びます。		作戦立案の理論と手法 災害対応における作戦立案を行うための理論と対応計画立案手法を学びます。
2月17日	状況予測・方針決定（災害対策本部運営訓練） 災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学びます。		情報分析・実行管理訓練 災害対応の初期期における限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を決定する手法を演習を通じて学びます。		全体討論・閉講 災害対応マネジメントにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるかを考えます。

総合管理コース「広報」3月1日（火）～2日（水）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
3月1日	組織マネジメント 災害対応に必要な「災害対応の3原則」と「活動の心構え・取組姿勢」を学びます。	災害広報（概論） 災害時の多様な情報提供方法、報道機関対応の概要・課題を学びます。	情報伝達と情報管理 自治体の災害広報における「広報内容の検討」の手順と方法を具体的な事例を基に学びます。	広報資料作成訓練 仮想災害シナリオにもとづき、地方公共団体の広報資料の作成について演習形式で学びます。	
3月2日	情報対応の実態 過去の災害事例を基に、災害報道が社会に及ぼす影響について学びます。	マスコミ対応の実態 過去の災害事例を基に、報道関係者から災害報道の実態について学びます。	模擬記者会見 公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。		全体討論・閉講 災害対応における広報について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるかを考えます。

総合管理コース「総合」2月2日（火）～3日（水）					
	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
2月2日	総合管理体系 災害対応マネジメントの全体像と考え方を学びます。	ハザードとリスク・脆弱性 災害対応マネジメントの前提条件となるハザードとリスク・脆弱性について学びます。	クライシスマネジメント(ICS) 災害対応マネジメント組織における標準的な体制(ICS)や対応手法の理論を学びます。	災害対策本部空間配置 災害対応マネジメントを行う場所としての災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトの考え方について、演習形式で学びます。	
2月3日	災害対策本部運営訓練 災害対応マネジメントの一連の動きである、限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を決定し、計画を立案し、活動を管理する手法を演習を通じて学びます。		組織への適用（マニュアル作成手法実習） 災害対応をプロジェクトマネジメントの枠組みで理解し、実効性の高いマニュアルを作成するための手法および概念を演習形式で学びます。		全体討論・閉講 防災力アップのため、災害対応マネジメントについて学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるかを考えます。